



INGING MOTORSPORT OFFICIAL WEBSITE OF PAPER [http://www.inging.co.jp]

INGING NEWS PAPER 2010 VOL.03

FREE
無料

INGING NEWS PAPER VOL.3 [インギング ニュースペーパー]

2010年07月発行 表紙3号
発行：株式会社インギング ネット アニメーション事業部
〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-25-7 CNビル



READY TO GO!!

Topics

初めての実戦で長丁場を難なく乗り切った第1戦。今回の目標はポイント獲得!と笑顔でコメント。

Race Report

Round.2 TWIN RING MOTEGI 5/23 Final
決勝 2010年5月23日 ツインリンクもてぎ

Round.3 FUJI INTERNATIONAL SPEEDWAY 7/17-18

Support by © cyber net

Topics TRY AND ATTACK

常に挑戦を繰り返し、トップを獲ろう。

READY TO GO!!

29

Takuto Iguchi

初めての实战で長丁場を難なく乗り切った第1戦。今回の目標はポイント獲得!と笑顔でコメント。



国内最高峰カテゴリーであるフォーミュラ・ニッポン。その開幕戦となった鈴鹿ではポイント獲得こそならなかったが、これまでフォーミュラでは100km前後までのレース距離経験しなかったものの、初めての实战で220kmという長丁場を難なく乗り切った井口卓人とDELIZIEFOLLIE/CERUMO-INGING。選入の今大会の舞台は、テクニカルなことで知られる第2ラウンドのツインリンクもてぎ。F3時代にはあまりこのサーキットでは良い思い出がなく、どちらかといえば好きなサーキットではないですね」とレースウィークを前にした金曜、サーキット入りした井口だったが、「新たにシートを作り直してもらいましたし、トレーニングもしっかりとやってきました」と今回の目標をポイント獲得に置いていると笑顔を見せた。

Formula NIPPON

Race Report

THE PRECIOUS LESSON WAS OBTAINED

Round.2 TWIN RING MOTEGI 5/23 Final

決勝 2010年5月23日 ツインリンクもてぎ
結果は残らなかったものの、最後まで走り抜いた井口。雨の中、貴重な経験を手にすることができた。

<決勝レース/52周> 天候:雨 | コース状況:ウェット

フリー走行での予習せぬトラブルや不運なアクシデントもあり、結果的に思いうるようなアタックに至らず14番手からのスタートとなったDELIZIEFOLLIE/CERUMO-INGINGと井口卓人。

2戦連続での厳しい洗礼を受ける格好となったわけだが、ドライバーの井口、立川スーパーバイザー以下チームスタッフが気を取り直し、決勝での挽回を目指して曇天の日曜日を迎えた。

セッション開始と同時にコースインした井口は、まずはゆっくりとしたペースで1周すると、詳細2周目から1分37秒757、1分37秒285と少しずつタイムダウン。この段階でのポジションは10番手あたりで、午前9時40分、再びピットロードに出た井口は、スタート練習を行ってコースイン。燃料を重い状態とし、ここからロングランに切り込みチェッカーが出された前3分55秒まで連続して周回。タイムを1分37秒後半から1分38秒前半に留まっていたが、決勝に向けた最終調整を行って、14番手ながら無事このセッションを終えることとなった。

ポツリポツリと落ち始めた雨が、午後1時45分のフォーミュラ・ニッポンのウォームアップ走行が始まるまでに本降りとなっており、路面は完全ウェットに転じた。このためチームではレインタイヤを装着。セットアップにも変更を加えて井口をウォームアップ走行に送り出す。この週末初めての雨とあって、レインタイヤの皮むきなどを兼ねて、路面とマシンとの感触を覚めた井口はセッション終了を受けていったんピットイン。いよいよ決勝のグリッドへと向かった。

午後2時30分にスタートしたフォーメーションラップが終わると、井口は14番グリッドに、フォーメーションに出陣した大嶋和也が、井口の後方からのスタートとなった。次の瞬間、レッドシグナルが消える。まずまずの動きで好スタートを見せた井口は、真早くアウト側のウィングを切り込むと、そのまま1コーナーへ。前車の巻き上げるウォータースクリーンで視界がまったく無い中、井口は巧みなライン取りでポジションをアツプ、平手昇平がスタート

ルしていたこともあり、1周目に一気に10番手への浮上を果たす。ポイント獲得に向けて、周囲にレース立ち上がった1と井口が無敵で折れてくる。チームは井口に様々な想定される対処法を伝え、井口もコックピット内でエンジンマッピングを変更するなどトライしたものの、状況は改善しない。このため、やむなくチームは9周目に井口にピットを呼び寄せたこと。チームは「時間は掛かっても、雨のレースをなんとか最後まで走り切る」と、経験の少ない井口に少しでも周回を重ねる機会を与えようと、際々と修繕作業を続けた結果、18周遅れとなりながらセクテン29のイエローのマシンが再び旗を掲げることに。結果、18周遅れは、トラブルの発生したマシンを乗り、雨の中で徐々にペースアップしていく。再セッションは13番手と変わらないものの、14周目に1分52秒071と自己ベストを更新する。20周目には1分51秒619にタイムアツプ。さらにレース終盤となった。井口にとっての28周目からは3周連続で1分51秒448、1分51秒238、1分50秒885とベストタイムを更新し続ける。フロントタイヤの消耗も進んでいたことから、勢いあまって翌周にはヘアピンで飛び出した井口だったが、それでもなんとか残り周回を走り切った。惜しくも周回数が足りず完走扱いにはならなかったが、2戦目にして井口は雨の中での連続走行を走り切り、結果こそ残らなかったものの、貴重な経験を積むこととなった。



RACE COMMENT

Final TWIN RING MOTEGI 5/23

TEAM DELIZIEFOLLIE/CERUMO-INGING

スーパーバイザー: 立川 祐路

「スタートの動き出しは良かったように思う。順調に序盤のレースを戦ってくれていたと思いますが、途中でトラブルが出てしまったことが残念でした。ただ、走る機会が少ないので時間が掛かっても良いから進んでコースに戻る」ということで、もう一度出したのですが、最終的には1分50秒に入るペースで走ってくれたので、悪くはなかったと思います。今回は終盤からトラブルがあったり、井口も思ったように走らなかったと思いますが、新車でドライ、もてぎでウェットと異なるコンディションを経験できそうで、次の富士では上位を目指してチーム一丸となって頑張りたいですね」

29 井口 卓人

「初めての雨のレースで、ウォータースクリーンで何も見えず3コーナーまでの位置取りが悪く、アウトから何台か巻き込まれ、結果的に大きなポジションアツプは出来ませんでした。序盤は周囲のマシンと比較しても、ペース的に悪くはなかったと思うのですが、急にシフトダウン出来なくなって、エンジンやマッピングなど、無難でチームとやりとりしながら色々対応したのですが、状況が良くならないのでピットインしました。神宮は諦めましたが、練習してもらい雨の中、最後まで走り切った良い経験を積むことが出来ました。トラブルは残念ですが、雨の中でドライは上位との差が無いタイムで走れました。次の富士に向けて、またひとつレベルを上げてみたいと思います。」

Takuto Iguchi ◆No.29 井口 卓人 11位